

## 特定テーマ1に対する企画提案

## ● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

## A. 岡山駅前広場デザイン提案の基本コンセプト

- 岡山の玄関口にふさわしい「岡山らしさ」を感じる広場デザインを提案します。
- 人々が集い、憩い、にぎわいの拠点となる、「人が主役」の広場デザインを提案します。
- 公共交通が利用しやすく集約された、中四国の交通のクロスポイント・岡山にふさわしい、観光や生活の「交通拠点」としての広場デザインを提案します。
- 現状の駅前広場が抱える様々な課題を把握した上で、既存の状況を最大限に活かしながら、制約条件（マイナス）を利点（プラス）へと転ずることで、新しい姿として未来に継承する、これからの時代にふさわしい考え方による「新生」の広場デザインを提案します。



- 市民にとって「愛着」の対象、「誇り」の対象となる駅前広場
- 来訪者が、魅力や親しみを感じ、「また岡山に来たくなる」駅前広場
- 駅前の様々な要素が統一感のあるデザインでまとめられ、ユニバーサルデザインに対応し、文化的に洗練された、あらゆる利用者に「わかりやすい」駅前広場



## B. 新・岡山駅前広場へのデザイン提案方針

基本コンセプトをふまえて、新・岡山駅前広場に対する以下のデザイン方針を提案します。

- 1) 「人が主役」の、《にぎわい拠点》と《公共交通拠点》となる駅前広場ゾーニング
- 2) 後楽園に「見立て」た、緑あふれる《都市の庭園広場》としての岡山駅前広場デザイン
- 3) 岡山市街へのビューとの出会い、《にぎわい拠点》としての広がり、人々の《居場所》を創り出す、既存の制約条件を活かしながら、新しい姿へと「新生」するデザイン
- 4) 「岡山らしさ」を感じる《県産材》の自然素材や配色でまとめた統一感のあるデザイン

## C. 岡山駅前広場の抱える既存の制約条件を考慮した上でのデザイン提案

岡山駅前広場には様々な既存の制約条件があり、それらを考慮した上で、制約条件を利点に転ずることで「新生」させ、これからの時代をリードする先進的な駅前広場のデザイン提案を行います。

- ① スペース不足
  - ・路面電車乗り入れを好機とし、車が主役から「人が主役」の広がりある駅前広場へのレイアウト変換の提案。
- ② 地下街からの連絡階段・排気塔
  - ・避難経路となる連絡階段や排気塔は位置移動が難しいため、これらを上手に活かす駅前広場デザインの提案。
- ③ 地下街への荷重条件
  - ・地下街の構造躯体への影響を考慮し、荷重条件に十分配慮した駅前広場デザインの提案。
- ④ JR岡山駅との一体的デザインによる相乗効果
  - ・駅前広場単体ではなく、JR岡山駅と岡山駅前広場が一体となり相乗効果を生み出すデザイン提案の検討。

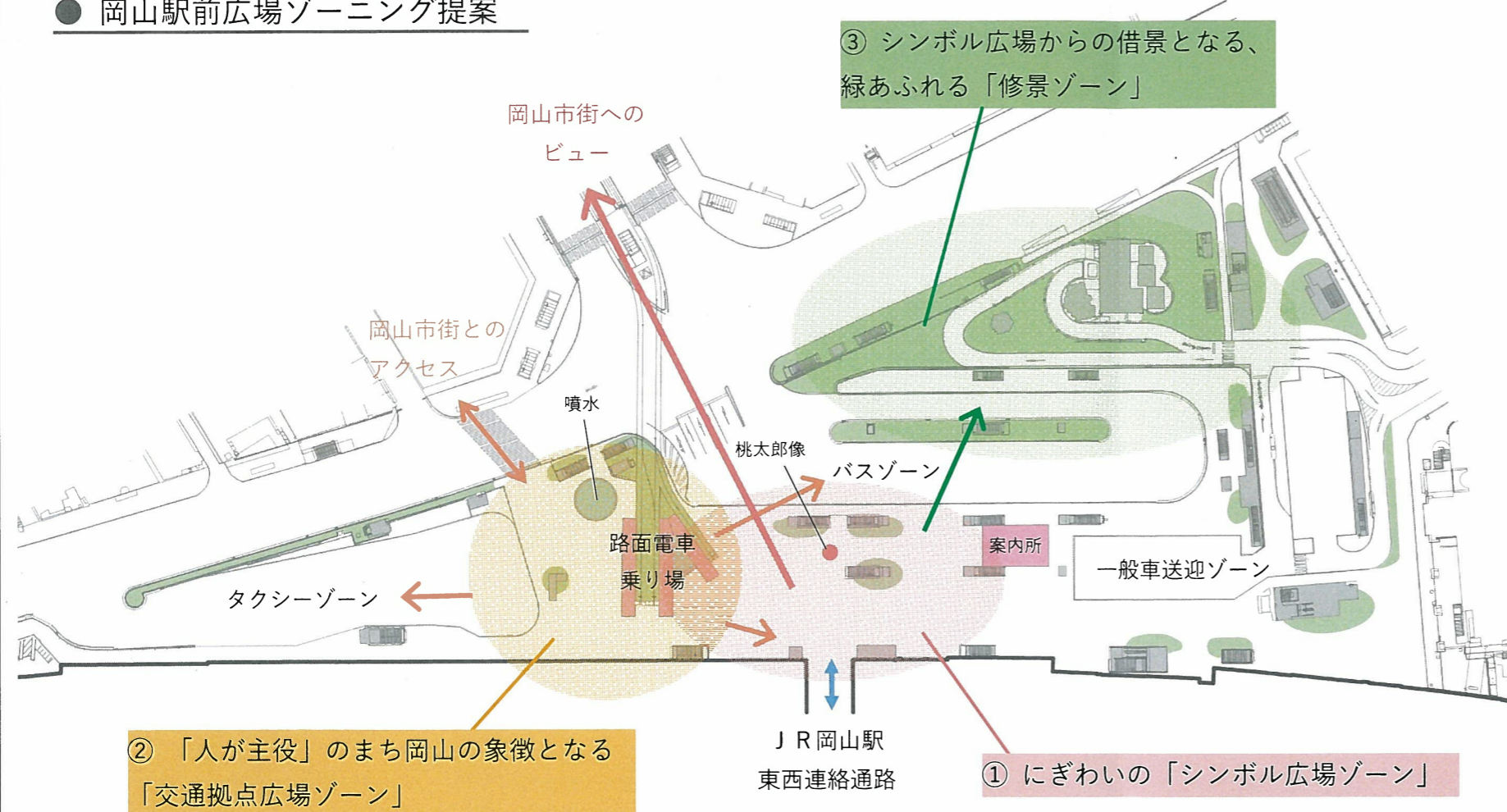
特定テーマ1に対する企画提案

● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

1) 「人が主役」の、《にぎわい拠点》と《公共交通拠点》となる駅前広場ゾーニング

・ 岡山市街へのビューに出会い、「人が主役」の、にぎわい拠点としての広がりのある、観光や生活の交通拠点となり、緑があふれる中で人々がくつろぐ事のできる「居場所」となる、駅前広場のゾーニングを提案します。

● 岡山駅前広場ゾーニング提案



**① にぎわいの「シンボル広場ゾーン」**

- ・ 岡山市民や来訪者が駅前広場に最初に降り立つ、岡山の玄関口となるゾーンは、岡山市街へのビューへと開かれ、イベントや休憩、待合の空間として様々に利用できる、にぎわいの拠点としての広がりのある「シンボル広場ゾーン」とします。
- ・ 岡山駅前にふさわしい「シンボル広場」とするために、広場の広がりや岡山市街へのビューの妨げとなっている現状の樹木、バス案内所、連絡屋根等のレイアウト変更を提案します。
- ・ 現在の駅前広場にある「桃太郎像」は、引き続き岡山駅前広場のシンボルとなるように、にぎわいの「シンボル広場」に移設を提案します。

**② 「人が主役」のまち岡山の象徴となる「交通拠点広場ゾーン」**

- ・ 路面電車、バス、タクシーによる公共交通ネットワークの中心となり、まちなかへの人の流れの起点となるゾーンを、「交通拠点広場ゾーン」とします。
- ・ 公共交通ネットワーク相互の乗り換えのわかりやすさ、利便性に配慮した広場デザインを提案します。
- ・ 「交通拠点広場ゾーン」には、路面電車乗り入れによって撤去されてしまう噴水の記憶を引き継ぎ、駅前広場の新たなランドマークとなるような噴水デザインを検討し、潤いと憩いのデザインを提案します。

**③ シンボル広場からの借景となる、緑あふれる「修景ゾーン」**

- ・ 巨大な給排気塔や空調設備などが置かれたゾーンは、緑化を立体的に活用することによって、既存の空調設備などを隠しながら、シンボル広場からは借景となるような、緑あふれる「修景ゾーン」とします。
- ・ 「修景ゾーン」は、岡山駅前広場からだけでなく、岡山市街からも緑のランドマークとなり、緑あふれる岡山駅前広場というイメージを新たに生み出します。

- 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる、「人が主役」の駅前広場に向けた3つのゾーニング
- ① 「シンボル広場ゾーン」 … にぎわい拠点としての広がり/岡山市街へのビュー/桃太郎像の移設
  - ② 「交通拠点広場ゾーン」 … まちなかへの人の流れの起点/公共交通ネットワークの利便性/噴水の施設
  - ③ 「修景ゾーン」 … 岡山駅前広場からの借景/岡山市街からの緑のランドマーク
- 「人が主役」のまち岡山の実現に向けた、岡山駅前広場内の公共交通ネットワークの集約と整理
- ・ 路面電車の駅前広場乗り入れ
  - ・ タクシーゾーンと一般車送迎ゾーンの入れ替え
  - ・ バス、タクシー、一般車の出入りを完全に分離



特定テーマ1に対する企画提案

● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

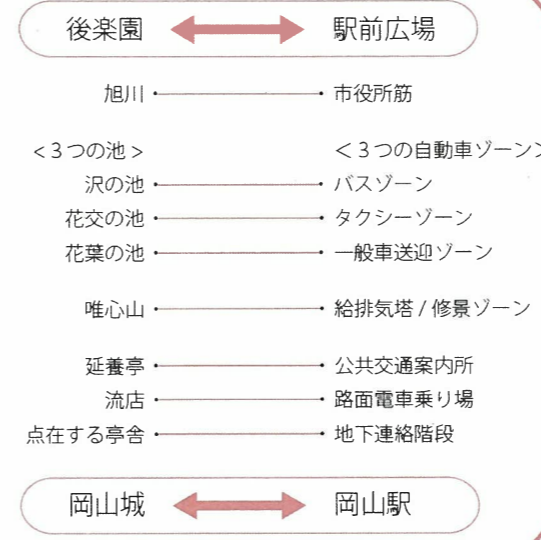
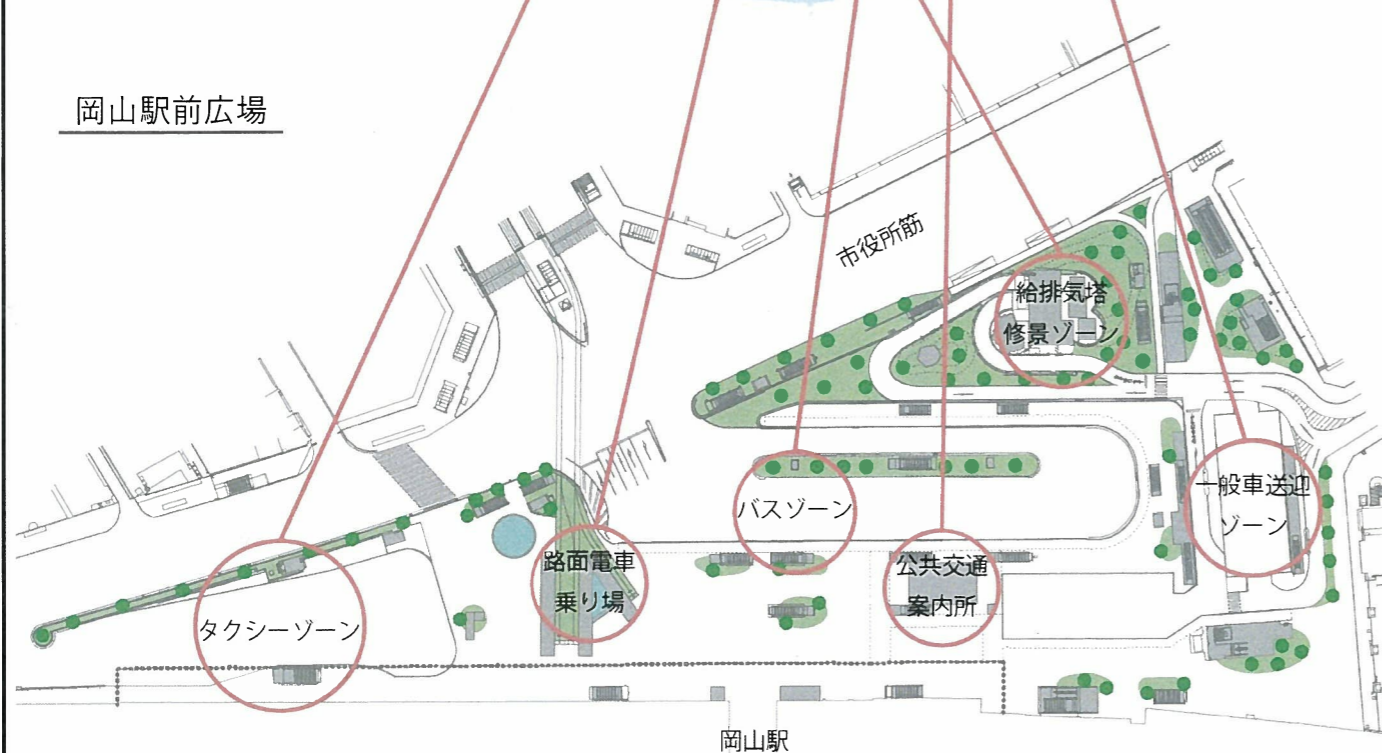
2) 後楽園に「見立て」た、緑あふれる《都市の庭園広場》としての岡山駅前広場デザイン

- ・ 岡山駅前広場を後楽園に「見立て」、立体的な変化に富み、回遊を楽しめる、《都市の庭園広場》としての駅前広場デザインを提案します。
- ・ 岡山駅前広場と後楽園は、ちょうど同じような三角形であり、それぞれに符合する対応関係を見出すことができます。この点に着目し、岡山駅前の要素を後楽園に「見立て」た駅前広場デザインを提案します。
- ・ JR岡山駅も岡山城に「見立て」、駅前広場と一体となったりデザインを検討します。

後楽園



岡山駅前広場

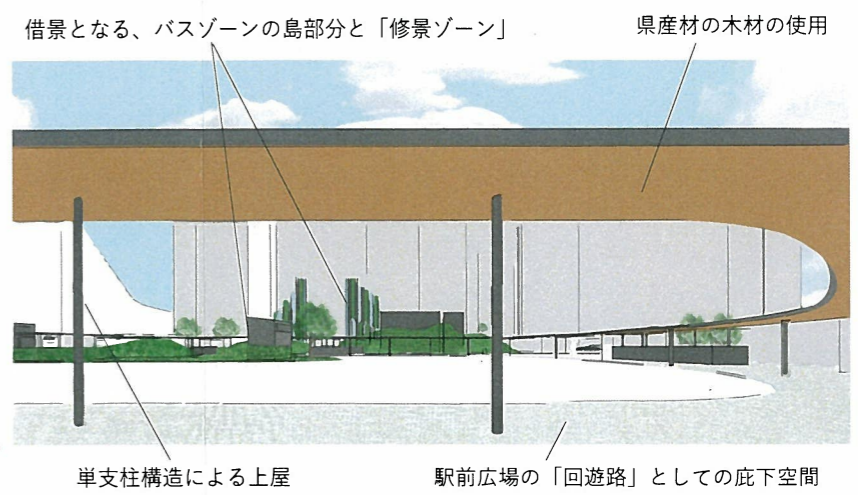


● 3つの池（沢の池／花交の池／花葉の池）に「見立て」た、3つの自動車ゾーン

- ・ 駅前広場の3つの自動車ゾーンは、後楽園の3つの池にちょうど「見立て」ることができます。一番大きな「沢の池」はバスゾーン、「花交の池」はタクシーゾーン、「花葉の池」は一般車送迎ゾーンに見立てられます。
- ・ バスゾーンにある島状の場所は、沢の池の「中の島・御野島・砂利島」に見立てて修景します。
- ・ バス乗り場やタクシー乗り場などに架かる底下の空間は、後楽園の園路のような、駅前広場の色々な景色を楽しめる回遊路です。
- ・ バス乗り場などの天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。自然のあたたかみを感じられる駅前広場となります。
- ・ バス乗り場などの上屋は、単支柱によるすっきりとした構造とし、これからの岡山にふさわしい洗練されたデザインとします。



沢の池



バス乗り場の提案イメージ

借景となる、バスゾーンの島部分と「修景ゾーン」

県産材の木材の使用

単支柱構造による上屋

駅前広場の「回遊路」としての底下空間

概算工事費：20～30億円程度

特定テーマ1に対する企画提案

● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

● 延養亭に「見立て」た、交通案内所 兼 待合所

- 交通案内所 兼 待合所は、延養亭に「見立て」たデザインを提案します。
- 延養亭が想起され、広場の人々の目に止まりやすいような、入母屋屋根を切妻と寄棟に分割した屋根デザインとして、人々が気軽に立ち寄りやすい4面ガラスのデザインとします。
- 天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



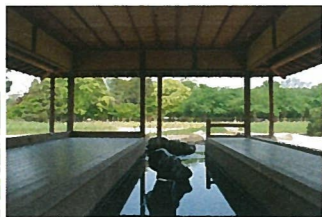
延養亭



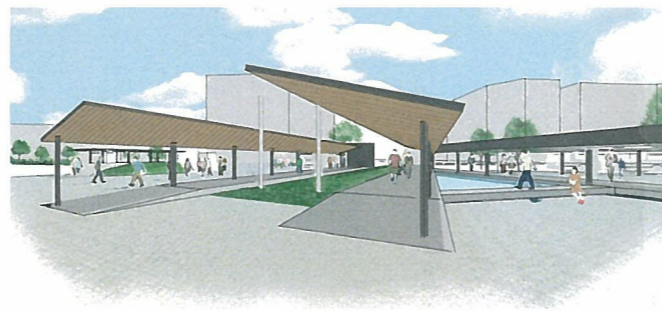
交通案内所 兼 待合所の提案イメージ

● 流店に「見立て」た、路面電車乗り場

- 路面電車乗り場は、流店に「見立て」たデザインを提案します。
- プラットフォームにはさまれた軌道部分は、流店の引き込まれた水路の「見立て」としての軌道緑化をすることで、岡山市街への起点を印象付けます。プラットフォーム間の三角形部分には水盤を提案します。
- 路面電車の屋根は、片支柱で支えられた片流れ屋根の組合せとし、流店を想起させるデザインを提案します。
- 天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



流店



路面電車乗り場の提案イメージ

● 後楽園内に点在する亭舎に「見立て」た、地下街との連絡階段

- 駅前広場に点在する地下街への連絡階段は、廉池軒や茶祖堂など後楽園内に点在する亭舎に「見立て」ます。
- 連絡階段の屋根の庇をのばし、県産材の石等のベンチを置き、植栽と一体的にデザインすることで、駅前広場に点在する障害物だった連絡階段は、駅前広場に点在する緑と憩いの休憩スペースとなり、人々の「居場所」を生み出します。
- 天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



廉池軒



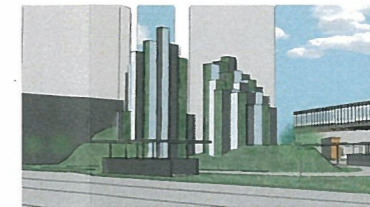
現在の地下街との連絡階段



連絡階段の提案イメージ

● 唯心山に「見立て」た、給排気塔のある「修景ゾーン」

- 特徴的な給排気塔がそびえ立つ修景ゾーンは、唯心山に「見立て」て、築山を整備します。立体的な緑のランドスケープによって既存の空調設備等を隠しながら、駅前広場の新たなビューポイントとなります。
- 給排気塔は、その特徴的な形状を活かして、駅前広場の新たなランドマークとなるようなデザインを提案します。例えば、六角形の各面に「ミラー」「緑」「ダークグレー色」といった素材や色を施すことで、周囲の景色が映り込んで、景観に溶け込み一体化するようなデザインを検討します。
- 夜にはライトアップし、塔の内側からも空へ光をうち、印象的な岡山の夜景を演出することも検討します。
- 「修景ゾーン」は、後楽園内で様々な季節の移ろいを楽しめるように、色とりどりの植栽で立体的に緑化し、四季折々の散策を楽しめるデザインを提案します。



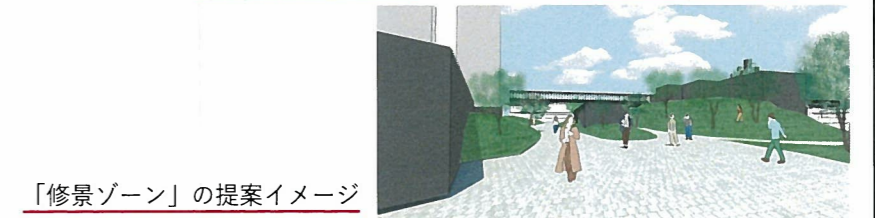
給排気塔のデザイン案



給排気塔の夜景イメージ



唯心山



「修景ゾーン」の提案イメージ

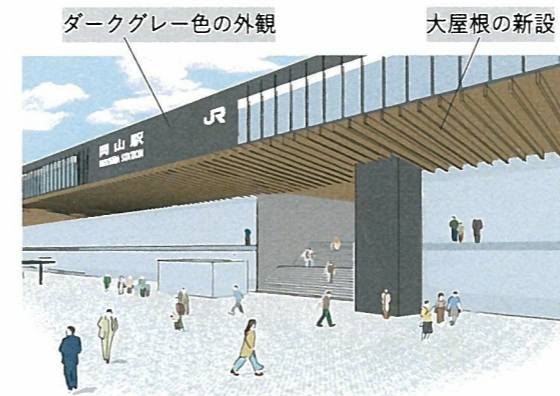
● 岡山城に「見立て」た、駅前広場と一体となった岡山駅のリデザイン

外観デザイン

- 岡山駅の外観は「烏城」と呼ばれる岡山城に「見立て」て、現状の駅舎の色を風格のあるダークグレー色とすることで、漆黒の下見板張りを想起させる「岡山らしい」洗練されたデザインに生まれ変わらせることを提案します。
- ダークグレーの外観は、かつての岡山駅の外観の記憶を呼び起こすデザインにもなります。

大屋根の新設

- 駅舎に大屋根の新設を提案します。大屋根の下に生まれる軒下広場は、半屋外の縁側のような空間となり、タクシーゾーンから一般車送迎ゾーンまでをつなぐ、にぎわいの交流空間となります。
- 大屋根は、既存の庇を撤去し、東西連絡通路の天井高さに合わせて設置することで、東西連絡通路から岡山市街への風景の見通しが良くなり、軒下広場は駅前広場にふさわしい都市的スケールのパブリック空間となります。
- 大屋根の軒天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



駅前広場と一体となった岡山駅の提案イメージ

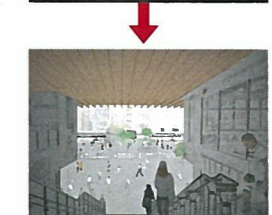


ダークグレー色の外観

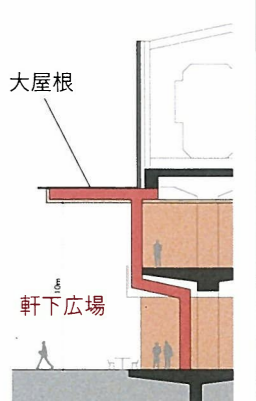


大屋根の新設

岡山城の下見板張り



昭和50年頃の岡山駅



東西連絡通路からの見通し

大屋根の断面イメージ